

同盟を真の前衛として

再建せよ!

安保闘争の総括と同盟活動の展望 共産主義者同盟政治局

一、日本階級闘争における同盟の存在とその歴史的意義

国内階級闘争の歴史を振り返ると、同盟の存在は常に重要な役割を果たしてきた。それは、プロレタリア革命の歴史の中で、労働者階級の団結と組織化を促進し、資本主義の矛盾を暴露し、社会進歩の力となるべく奮闘してきた。同盟は、単なる労働組合を超えて、階級闘争の武器として、社会正義の闘争をリードしてきた。その歴史的意義は、労働者階級の意識を高め、社会進歩の力となるべく奮闘してきた。その歴史的意義は、労働者階級の意識を高め、社会進歩の力となるべく奮闘してきた。

同盟の存在は、労働者階級の団結と組織化を促進し、資本主義の矛盾を暴露し、社会進歩の力となるべく奮闘してきた。同盟は、単なる労働組合を超えて、階級闘争の武器として、社会正義の闘争をリードしてきた。その歴史的意義は、労働者階級の意識を高め、社会進歩の力となるべく奮闘してきた。

二、安保闘争の政治的評価と同盟の活動

安保闘争は、戦後日本社会における重要な政治的出来事であり、同盟の活動は、この闘争の政治的評価と展望を明らかにする上で重要な役割を果たした。同盟は、労働者階級の団結と組織化を促進し、資本主義の矛盾を暴露し、社会進歩の力となるべく奮闘してきた。その歴史的意義は、労働者階級の意識を高め、社会進歩の力となるべく奮闘してきた。

同盟の活動は、労働者階級の団結と組織化を促進し、資本主義の矛盾を暴露し、社会進歩の力となるべく奮闘してきた。その歴史的意義は、労働者階級の意識を高め、社会進歩の力となるべく奮闘してきた。